

# TEAM 伊良林

令和6年2月28日



【自ら考え 自ら行動し ともによりよく生きようとする子供を育てる】 長崎市立伊良林小学校 校長 片岡 勝志

## 節 目

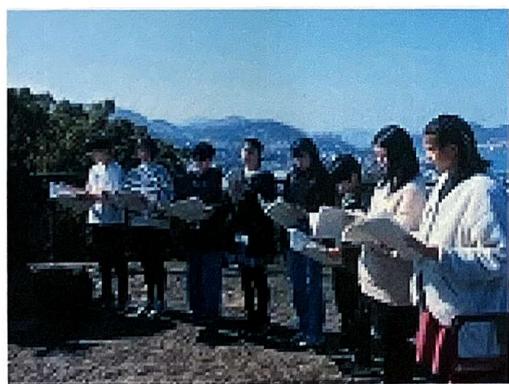
竹は成長の早い植物です。ただ上へ上へと伸びるだけでは自分自身を支えきれなくなってしまいます。それで節というものがあります。これがあるから風の強い時も、雪が積もった時も、体をくの字に曲げて耐え抜き、簡単に折れることはありません。

同じように、人の成長にも節目が必要です。人にとっての節目とは、これまで育った環境から新しい環境に身を置くことではないかと思います。

いよいよ、6年生の卒業の日が近づいてきました。6年生にとって、今はまさに節目の時です。6年間なんて、長いようですが、過ぎてしまえば本当にあっという間に感じられます。今、6年生が無事に節目の時を迎えたことを喜ぶとともに、一人一人がしっかりとした強い節目をつくり、この春から新たな環境でさらに成長してほしいと願っています。

## 司馬遼太郎・長崎菜の花忌

2月12日は、好天に恵まれ、風頭公園の坂本龍馬像前の広場において、「第25回司馬遼太郎・長崎菜の花忌」が開催されました。この行事は、代表作「龍馬が行く」などで知られる作家・司馬遼太郎さんをしのんで、命日の12日に司馬さんが好んだ菜の花を文学碑前に手向けるというもので、本校からは、6年生が8名参加、「21世紀を生きる君たちへ」という、司馬さんが小学校の教科書向けに執筆した作品を朗読しました。



## 授業参観・懇談会のお礼

2月13～16日は、今年度最後の授業参観・懇談会を行いました。大変ご多用な中にもかかわらず、多くの保護者の皆様に学校に足を運んでいただきました。授業参観では、多くの方々の温かいまなざしに包まれ、大きな後押しを受けて、子供たちはこれまで学習したことをしっかりと発表することができました。多くの人の前で発表する経験を積むことは、その子の成長につながるものです。保護者の皆様には、今後とも気軽に教室に足を運んでいただき、子供たちの頑張りを応援していただければ幸いです。授業参観並びに懇談会、学年レクへのご参加、ありがとうございました。